

2013. 2. 20 発行

みなさん、こんにちは。SSH です。

随分ご無沙汰をしており、気が付けば2月も半ばを過ぎてましたね。

言い訳をさせていただけると・・・もう SSH は来年（平成 25 年度）の計画を立てなくてはならず、そちらのお仕事を優先させておりました。失礼しました。

また再開と言うことで、みなさんよろしくお願いいたします m(_)_m

さて、今回は「調べ学習」と「調査研究」のちがいについて語ってみたいと思います。

これまで、みなさんは小学校、中学校、そして総合的な学習の時間に、「調べ学習」を体験したことがあると思います。何か1つテーマを決めて、あるいは疑問に思った事について、本やインターネットの検索を利用して、情報を集めていく学習です。この学習は、自分から主体的に取り組む

能動的 (Active) な学習

なので、効果的と言われてています。

そう、正しく調べれば・・・という前提条件があるかなと考えています。どういうことかという、どんな情報であっても、ただ鵜呑みにしては、それは「能動的・主体的」とは言えないのではないかと思います。やり方を間違えると、調べ学習は、正反対に位置する最も「受動的・依存的」な学習になってしまう恐れがあります。その典型が・・・

コピペ問題

みなさんもコピペの経験があるのではないですか？

大学生になっても、自分で考えて表現するのではなく、ネット上にある情報を鵜呑みにし、そっくりその情報を「コピー&ペースト」することで、レポートを完成させることが横行してとか。最近では、そのレポートの文章表現が、どこからコピーされたものかを検証する・・・そんな、先生用の検索アプリも登場しているようです。

<http://www.ank.co.jp/works/products/copyelna/>

(株式会社アंकから画像の許可を頂きました)

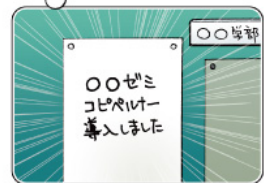
こうなってくると、なんだか犯人捜しのようで、寂しですね。でも人の書いたモノを拝借するのは、立派な盗用になりますので、ご注意を・・・

Q. コピペルナーのホントの役割は？



コピペルナー は
学生を罰するための
道具ではありません。

コピペを未然に防ぎ、抑止する
“レポートの試験教官”
それが**コピペルナー**です。



では、主体的な学習に必要な要素とは何でしょうか。それは、1つの情報に対して「自分なりの理解と判断」という行動をプラスすることだと思います。この判断は、「疑う」と言い換えてもいいかも知れません。疑ったことを更に調べる時に、その学習は「調べ学習」の域を超えて「研究」というレベルに少し近づき主体性を持つように思います。

蕪高 SSH は「未来の科学者の卵をつくる」ことを大きな目標に掲げています。そういう生徒を育てていく上で、私たちは、真つ当な科学的な手法を生徒に身につけてもらいたいと考えています。

科学的な手法（研究の進め方）とは、

仮説を立てる→調査・研究する→仮説を検証する（正しい？間違っている？）

こういうステップを踏んでいきます（この繰り返しになります）。

最初のステップである「仮説を立てる」ためには、ある事実に対して「本当なの？」と疑問を持つことから始まります。さらに言えば、「本当なの？」と思うのは、その事に関心があるから・・・と言えます。つまり、科学の研究の進め方は、関心＝**知的好奇心**からスタートするとも言えますね。

ところが、最近は、「これやりたい」とか「これ面白いですね」と面白がる生徒が・・・たぶん蕪高だけではないのかもしれませんが、減ってきている気がします。誰かが、答えをくれないかなあ・・・と口を開けて待っている、そんな印象さえ持つことがあります。それで大丈夫なのでしょう。いえいえ、大丈夫なはずありません。多分人生の多くは、答えを自分で見つけて歩く旅なのですから。

あなたはどうですか？

少し難しい話になってしまいましたが、この科学的な手法は、別に科学研究だけではありません。色々なところで、役に立つ方法と考えます。例えば、将来・・・あなたが勤めている会社で、自社製品の売り上げをどうやって回復させるか・・・そんな仕事を任されたとします。

まずは、「なぜ売り上げが減ったのか」調査研究して、分析しなくてはなりません。原因がはっきりして初めて効果的な対策がとれるのですから。そして、次に、売り上げを回復させる具体的な方法を試すことになるでしょう。結果として売り上げが回復しなければ、また別の効果的な方法を試すことになります。どうですか・・・。いつも検証しながら次の一手を考える点では、仮説→検証を繰り返す「科学研究」とそっくりなことがわかります。

蕪高生のみなさんも、自分のオリジナリティを大切に、自ら「考える」「判断する」「行動できる」そういう、“**Active**な蕪高生”を目指してほしいなあと願っています (^_^)/

【お詫びと訂正】 SSH だよりをお読み頂いている生徒および保護者の方から、内容に関する御指摘を頂きました。ここに訂いたします。今後も SSH だよりを宜しく願います。

SSH だより第 5 号 「40kW の慢性不足」(誤)「40 億 kW」(正)

SSH だより第 5 号 「日照時間日本一の本県」正確に述べると「県庁所在地甲府市が日本一」